

# 時代の女性の願いを映す双六

## — 女性の仕事と職業観の変遷 —



築地双六館館長  
吉田 修

# 時代の女性の願いを映す双六

## — 女性の仕事と職業観の変遷 —

### 目次

ごあいさつ	2
双六① 明治19年(1886年) <b>新双六淑女鑑</b> 「洋装の貴婦人は、明治時代の憧れの姿だった!」	4
双六② 明治38年(1905年) <b>新案婦人風俗双六</b> 「就学率が高まり、『良妻賢母教育』が推進された明治後期」	6
双六③ 大正5年(1916年) <b>新案少女双六</b> 「良家のお嬢さんの価値観を教育的見地で浸透させていた大正時代の双六」	8
双六④ 大正6年(1917年) <b>少女画報双六</b> 「上りは多産の母。勤勉に働く多職種の女性を描いた大正の双六」	10
双六⑤ 大正12年(1923年) <b>少女生活双六</b> 「関東大震災が起こった大正12年の少女たちの憧れの職業は万年筆を持つ知的で美しい女流作家」	12
双六⑥ 大正14年(1925年) <b>女子スポーツ双六</b> 「スポーツの領域が拡大し、トロフィーを携帯してのお興入れが理想だった大正時代の女性」	14
双六⑦ 昭和9年(1934年) <b>愛国婦人双六</b> 「国に貢献したい女性を集めた『愛国婦人会』の幅広い活動を紹介した昭和戦前の双六」	16
双六⑧ 昭和12年(1937年) <b>女の一生双六 婦人公論編新案源氏</b> 「自由主義と女権の拡張をめざした婦人公論は、知的でお洒落な双六を創った」	18
双六⑨ 昭和6年(1931年) <b>赤十字双六</b> 「戦時救護とともに災害救護の事例を示して国民の理解・協力を求めている赤十字の双六」	20
双六⑩ 昭和20年代前半(1945～1950年) <b>子供に出来る選挙肅正双六</b> 「戦前は選挙肅正を教えていたが、戦後は『民主主義のあり方』について子どもたちに教えた双六」	22
双六⑪ 昭和25年(1950年) <b>人生競争双六</b> 「憧れの職業に就くには、さなざまな壁を突破する覚悟が必要なことを教えている双六」	24
双六⑫ 平成17年(2005年) <b>プロフェッショナル時代の到来 専門職業飛廻寿語録</b> 「人生100年の未来を予測し、柔軟に仕事と学びを選びながら自らを活かしていく時代へ」	26



## 「あいさつ」

絵双六は時代を映す鑑です。上りにはその時代の夢や憧れが表現されており、庶民の息吹が伝わってきます。日本最初の絵双六は十三世紀後半頃、天台宗の新米の僧に仏法の名目を学ばせるために考案されたといわれています。

江戸時代には、当時世界一の多色刷木版技術である浮世絵技法で、歌舞伎・道中、名所・武者等様々な双六が発行されました。明治以降は印刷技術の向上、雑誌付録の誕生、流通販売ルートの確立により裾野が広がり、家庭の娯楽品として愛されました。現在においても、多くの双六を見出すことができます。

二〇一七年から二〇二〇年にかけて、女性活躍応援誌「季刊オビニオン・プラス」に、「時代の女性の願いを映す双六」の紹介と解説記事を連載させていただきました。双六を読むことがテーマです。とても楽しくかつ勉強になる連載でした。この度、この連載を本冊子として発行することになりました。一緒に絵双六の世界に遊んでみてください。あなたは、すっかりスゴキアン（双六大好き人間）になっていることでしょう。ご感想をメールなどいただければ望外の喜びであります。

なお、本書の発行にあたっては、編集長の渡邊嘉子様、編集担当の青木由佳様、写真家の渡邊英昭様に大変お世話になりました。厚く御礼を申し上げます。コロナ禍が続く中、皆様のご健勝とご活躍を衷心より念じております。

令和 式年　長月　朔日  
築地双六館 館長　吉田　修

年代	本誌掲載双六発行年・女性及び労働市場関連の出来事	社会の出来事
昭和4(1929)	上野松坂屋にエレベーターガール登場 <p>日本看護婦協会設立 / 改正工場法施行により女性の深夜業廃止</p>	世界大恐慌
<b>昭和6(1931)</b>	<b>⑦赤十字双六</b> <p>日本赤十字　満州事変に救護員召集</p>	柳条湖事件(満州事変勃発)
昭和7(1932)	大日本国防婦人会発会	五・一五事件
<b>昭和9(1934)</b>	<b>⑧愛国婦人双六　愛国婦人会</b> <p>東京宝塚劇場開場</p>	溥儀が満州国皇帝に即位 <p>ペーパ・ルースら米大リーグ選抜チーム来日</p>
昭和10(1935)	東京市教育局、男女教員の同僚結婚不可を通達	選挙粛正委員会令公布
<b>昭和11(1936)</b>	<b>⑨子供に出来る選挙粛正双六</b>	二・二六事件
<b>昭和12(1937)</b>	<b>⑩女の一生双六　婦人公論編新案源氏</b>	盧溝橋事件(日中戦争勃発)
昭和13(1938)	内妻にも軍人遺族扶助 / 産児制限相談所、警察命令で閉鎖	国家総動員法公布
昭和14(1939)	国民職業能力申告令制定(女医・看護師等) / 従業者雇入制限令 / 国民徴用令	第二次世界大戦勃発
昭和15(1940)	青少年雇入制限令 / 従業者移動防止令	日独伊三国軍事同盟条約調印 / 大政翼賛会発足
昭和16(1941)	労務調整令 / 国民労務手帳法 <p>国民勤労報国協力令(14~40歳未満男子、14~25歳未満未婚女子の勤労奉仕義務法制化)</p>	太平洋戦争勃発
昭和17(1942)	大日本婦人会結成 / 年末年始休暇廃止	ミッドウェー海戦 / 食糧管理法制定
昭和18(1943)	学徒出陣	企画院、商工省など廃止、軍需省創設
昭和19(1944)	女子挺身勤労令(12~40歳の内地女性を女子挺身隊として動員) <p>学徒勤労令(学生・生徒が軍需生産に従事する規定)</p> <p>花柳界・バーなど強制閉鎖、芸者・女給・仲居など1万8000人が転廃業</p> <p>学童集団疎開</p>	東京空襲始まる
昭和20(1945)	国民勤労動員令 <p>GHQが5大民主化指令を出す(婦人解放、労働組合結成奨励、学校教育自由主義化、秘密審問司法制度撤廃、経済制度民主主義化)</p>	日本無条件降伏(終戦)
昭和21(1946)	婦人参政初選挙	日本国憲法公布
昭和22(1947)	労働基準法・職業安定法制定、女子保護規定も他の先進国と同等に <p>失業保険制度発足 / 教育基本法・学校教育法公布(男女共学)</p>	税制改正・民法改正
<b>昭和25(1950)</b>	<b>⑪人生競争双六</b> <p>生活保護法公布、未亡人のために教育扶助・住宅扶助が加わる</p> <p>母子家庭190万世帯(平成29年は76万世帯)</p>	朝鮮戦争勃発
昭和26(1951)	児童憲章制定 <p>平塚らいてう・野上弥生子ら5婦人がダレス特使に「講和に関する日本女性の希望条項」を手交</p>	サンフランシスコ講和条約・日米安全保障条約調印
昭和29(1954)	初の集団就職列車(青森~上野間)運行	第五福竜丸事件 <p>吉田内閣総辞職、第1次鳩山内閣発足</p>
昭和35(1960)	初の女性大臣(厚生大臣中山マサ) <p>身体障害者雇用促進法制定</p>	高度成長・所得倍増計画
昭和37(1962)	企業への招待(リクルートブック)創刊 <p>女子学生比率37%</p>	キューバ危機 <p>東京世界初の1000万人都市に</p>
昭和43(1968)	日刊アルバイトニュース創刊	国民総生産自由世界第二位
昭和47(1972)	勤労婦人福祉法施行 / 労働安全衛生法施行	第1次田中角栄内閣発足 / 日中国交正常化
昭和50(1975)	森山婦人少年局長ほか8人の各省婦人課長、国家公務員への女性の採用と登用を三木首相に陳情 <p>※婦人の国家公務員は全体の14.4%、管理職は1%</p> <p>家庭科の男女共修をすすめる会、永井文相に家庭科の男女共修を要望</p>	国際婦人年 <p>田部井淳子、エベレスト日本女子登攀隊長としてエベレストに女性として世界で初めて登頂成功</p>
昭和55(1980)	とらばーゆ創刊 <p>シルバー人材センター設置</p>	日本の自動車生産数世界一位 <p>黒澤明監督の「影武者」がカンヌ国際映画祭グランプリを受賞</p>
昭和61(1986)	男女雇用機会均等法施行 <p>労働者派遣法施行</p>	土井たか子が日本社会党の委員長に就任、日本の主要政党で初の女性党首に
平成4(1992)	育児休業法施行	暴力団対策法施行 / 自衛隊、カンボジアへ初のPKOでの海外派遣
平成5(1993)	パートタイム労働法施行	環境基本法成立
平成11(1999)	男女共同参画社会基本法施行	中央省庁等改革関連法、地方分権一括法が成立 <p>金融再編(財閥系銀行等の経営統合発表)</p>
<b>平成17(2005)</b>	<b>⑫プロフェッショナル時代の到来　専門職業飛進寿語録</b> <p>次世代育成支援対策推進法施行</p>	個人情報保護法全面施行 <p>郵政民営化関連法案が成立</p>
平成28(2016)	女性活躍推進法施行	IR推進法施行 / マイナンバー制度スタート
令和 <p>令和2(2020)</p>	改正女性活躍推進法施行	新型コロナウイルス世界的大流行(パンデミック)、医療・経済・雇用に大打撃

※参考資料: wikipedia「働く女性」、求人広告半世紀(リクルート)、日本職業協会の職業安定行政史、求人情報の適正化と求職者保護の取組み(全求協2019)、女性をめぐる社会的環境の歴史的展開(平野敏政・平井一夢)、戦後女性労働の推移と日本的特質(藤井治枝)、双六ねっと(築地双六館・双六ライブラリー)

※日本赤十字　満州事変に救護員召集:http://www.jrc.or.jp/about/history/、http://www.jrc.or.jp/plaza/pdf/plaza\_volume2\_100815.pdf

※女性労働判例のご紹介：2019年版 働く女性と労働法/発行物/TOKYOはたらくネット:https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/shiryo/jyosei-rdoho/index.html

## 女性労働の近現代史　―双六とその時代背景―

年代	本誌掲載双六発行年・女性及び労働市場関連の出来事	社会の出来事	
明治	明治元(1868)	大阪府が政府に市中に男女共学学校設置申入れ	鳥羽伏見の戦い / 明治維新
	明治5(1872)	富士登山の女人禁制廃止	官営 富岡製糸場操業開始 / 新橋~横浜間に鉄道 開通
	明治10(1877)	博愛社(後の日本赤十字社)設立	西南戦争始まる
	明治18(1885)	荻野吟子、医術開業試験に合格	内閣制度創設、伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任
	<b>明治19(1886)</b>	<b>①新双六淑女鑑</b>	帝国大学令、師範学校令、中学校令、小学校令公布
	明治22(1889)	津田梅子がプリンマー大学入学(1900年に女子英学塾開校) <p>1890年頃、繊維産業で女性が雇用され、工場労働者の約9割が女性であった</p>	大日本帝国憲法公布
	明治33(1900)	百貨店の三井呉服店(現:三越)が新聞の募集広告で女性正社員を採用 <p>治安警察法公布、東京女医学校(後の東京女子医科大学)創立</p>	田中正造が足尾銅山鉱毒事件について明治天皇に直訴
	<b>明治38(1905)</b>	<b>②新案婦人風俗双六</b>	日露講和条約調印
	大正3(1914)	宝塚少女歌劇(現在の宝塚歌劇団)第1回公演	第一次世界大戦勃発 / 「東京駅」開業
	<b>大正5(1916)</b>	<b>③新案少女双六</b> <p>工場法施行 / 女性タイピストが増加し、「職業婦人」と呼ばれる</p> <p>黒田チカ(化学科)、牧田らく(数学科)が女性初の理学士に</p>	寺内内閣成立 <p>吉野作造が「デモクラシー」に「民主主義」の訳語を与え、目標を普通選挙と政党政治の確立とし、大正デモクラシーの中心人物となる</p>
	<b>大正6(1917)</b>	<b>④少女画報双六</b> <p>「主婦之友」創刊</p>	ロシアでソビエト政権成立(10月革命) <p>中島飛行機株式会社設立</p>
	大正9(1920)	東京女子医専が文部省指定を受け、卒業生の医師免許取得が無試験に <p>東京市街自動車に女性車掌(バスガール)が登場</p>	国際連盟発足、日本も加盟国となる <p>第1回「国勢調査」</p>
	<b>大正12(1923)</b>	<b>⑤少女生活双六</b> <p>工場法改正(11時間労働へ)</p>	関東大震災 / 「文藝春秋」創刊 <p>竹久夢二「都新聞」に「東京災難画信」を連載</p>
	<b>大正14(1925)</b>	<b>⑥女子スポーツ双六</b> <p>「女工哀史」(細井和喜蔵著・改造社)発行</p>	普通選挙法公布(男子普通選挙実現) / 治安維持法公布 <p>ラジオ放送開始 / 地下鉄上野~浅草間着工(昭和2年開通)</p>

▼双六の概要 制作:明治19年(1886年) 作者:間野秀俊 出版人:山本松之助 画:小林清親 彫師:野口圓活 サイズ:縦73cm×横72cm  
双六形式:45コマの飛び回り双六(コマの中に、サイコロの目によって進むコマが指定されている形式)



## 時代の女性の願いを映す双六① 洋装の貴婦人は、 明治時代の憧れの姿だった!

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる女性たちの願いや憧れと共に、置かれていた立場や階層・社会通念・社会の要請などが見事に表現されています。

双六収集家の吉田修氏の協力を得て、日本の明治時代からの女性の人生を描いた双六をシリーズで紹介していきます。「女性の人生観の変化」を感じ取っていただける機会になることでしょう。



▲表2

▶表紙

### 絵双六は時代を映す鑑 上りに時代の夢・憧れが見える

絵双六は時代の価値観を映す鑑です。上りにはその時代の夢や憧れが表現されており、庶民の息吹が伝わってきます。日本最初の絵双六は13世紀後半頃、天台宗の新興の僧に仏法の名目を遊びながら学ばせるためのものでした。江戸時代には、多色刷木版技術である浮世絵技法で、歌舞伎・道中・名所・武者等様々な双六が発行されました。明治以降は、印刷技術の向上、雑誌付録の誕生、流通販売ルートの確立により、双六の広報宣伝メディアとしての機能が強化され、娯楽だけではなく、国威発揚や教育啓発ツールとしても活用されました。

### 明治の女性のサクセスストーリー

新双六淑女鑑は、良妻賢母教育

に裏打ちされた明治の女性の幸福な一生を学ぶ双六です。

とりわけ「婚姻は婦人の一大紀元なり 一生の幸と不幸は 此の一事に繋がり」と左上のコマに書かれています。夫婦円満で進む「淑女」の上がりにたどり着きますが、道を踏み誤ると「娼妓」や「老朽」に落ちてしまいます。振出しは無心ノ女兒。「四五歳の時は 白糸の如し 智識大方は 外より来る 養育の任に当る者 須く留意すべし」との説明書きがあります。

前向きなコマは勉強、善隣、玉の輿、良配(良き配偶者)、不幸なコマは不良夫婦、裏店住まい、劣情、離縁、放逐などとなっています。

上りには「夫に対しては 半身の名に背かず 国に対しては国民

の本分に堪ふ 夫に忠あり 国に功あり 美なるかな 当世の淑女」と洋装の女性が美と描かれ、明治の女性観が見事に表れています。

### 新聞記者も医師も憧れの仕事 新しい職業も登場

「卒業」に進むと、当時の職業婦人の仕事に出会えます。教員、著述家、宣教師、新聞記者、医師などは当時の最先端の憧れの仕事であったことが解ります。

### ●吉田 修(よしだおさむ)プロフィール

1954年生まれ。島根県松江市出身。公益社団法人全国求人情報協会常務理事、認定NPO法人キャリア推進ネットワーク広報部長、和文化教育学会会を務めるかたわら、築地双六館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り組む。  
公式HP: <http://www.sugoroku.net/>

新案婦人風俗双六

水野年方画



時代の女性の願いを映す双六②

就学率が高まり、「良妻賢母教育」が推進された明治後期

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる女性たちの願いや憧れと共に、置かれていた立場や階層・社会通念・社会の要請などが見事に表現されています。「女性の育てられ方や人生観の変化」を感じ取っていただけることでしょう。

職業婦人を支援した 徳富蘇峰と平塚雷鳥

明治28年に、徳富蘇峰が中心となって結成された民友社から、わが国初の女性向け職業案内書『婦人と職業』が出版されました。その中で蘇峰は、「吾人は飽くまで婦人の職業を取るを可とするものなり。職業に従事せば、自治も、独立も、権利も品格も自由も自ら来るものなり」と、極めて先進的かつ開明的な主張を行いました。

の序文では、平塚らいてうは「元始女性は太陽であった」と謳い上げ、女性解放・権利獲得、反戦・平和の活動を開始しました。これらにより、自由な生き方に目覚めた女性たちによって、女性の職域拡大が少しずつ進んでいったのです。

女性の就業率が急速に高まった明治時代

明治33年の第三次小学校令により、義務教育期間である尋常小学校の修業年限が4年に統一され、明治40年には尋常小学校6年制の義務教育が確立されました。その

結果、学齢児童の就学率は、明治25年に55・1%（男71・7、女36・5）であったのが、明治40年には97・4%（男98・5、女96・1）と急速に向上しました。中等教育機関（旧制中学・高等女学校・実業学校・師範学校の本科）への進学率も、明治28年4・3%（男5・1、女1・3）から明治43年12・3%（男13・9、女9・2）、へと高まりました。

婦人の本分を妻母とし、良妻賢母教育が行われた

明治時代の女子の教育は、婦人の本分を「妻母」であることとみなし、婦人の育児と家庭創造の能力を高めることを女子教育の目標としていました。

つまり、良妻賢母教育が主眼であり、夫婦の人格的独立に基づく対等平等の啓蒙教育には至っていませんでした。この双六にはその時代背景がよく表れています。

上りは憧れの貴婦人

振り出しは母娘で反物をみる「令嬢」です。「子守」「下女」「小間使い」「乳母」「嫁」「内儀」などの家庭内における伝統的な役割や仕事を紹介しつつ、「女工」「女

教師」「看護婦」など新しい職業も取り入れています。

上りは壮麗な洋装の「貴婦人」です。明治の終わり頃の産業革命口をみると、7割近くが第一次産業就業者です。多くの少女にとつて、貴婦人は雲の上の憧れの存在だったのです。

双六の絵を描いた水野年方は、江戸から明治に移行する時代に、浮世絵師から画家になりました。この双六は、流麗な筆遣いと墨と朱の配色により、品のある作品に仕上がっています。

●吉田 修(よしだおさむ)プロフィール  
1954年生まれ。島根県松江市出身。公益社団法人全国求人情報協会常務理事、NP Oキャリア権推進ネットワーク広報部長、和文化教育学会会員を務めるかたわら、築地双六館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り組んでいる。  
公式HP: <http://www.sugoroku.net/>



時代の女性の願いを映す双六③

# 良家のお嬢さんの 価値観を教育的見地で 浸透させていた大正時代の双六

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる女性たちの願いや憧れと共に、置かれていた立場や階層・社会通念・社会の要請などが見事に表現されています。双六収集家の吉田修氏の協力を得て、日本の明治時代からの女性の人生を描いた双六をシリーズで紹介していきます。「女性の人生観の変化」を感じ取っていただける機会になることでしょう。

江戸時代からの日本の子供の  
就学率・識字率は世界一

1853年に黒船で来航したペリーは、『ペリリ提督日本遠征記』の中で、日本が本が安く大量に売られていることに驚き、「教育は同帝国至る所に普及して居り」と高く評価していました。

寺子屋の普及により、江戸時代の日本は、庶民の就学率・識字率はともに世界一でした。嘉永年間(1850年頃)の江戸の就学率は70〜86%で、裏長屋に住む子供でも手習いに行かない子供は、ほとんどいなかったと伝えられています。

日本橋、赤坂、本郷などの地域では、むしろ男子よりも女子の就学数の方が多かったという記録もあるそうです。これは、娘を良家に嫁入りさせるためであったと考えられます。

これに対して、1837年当時におけるイギリスの大工業都市での就学率は、わずか20〜25%だったそうです。(※)

メディアとしての絵双六

そのような教育の下地がある中で、日本最初の少女雑誌「ち

ゑのあけぼの」が明治19年11月に大阪で創刊されました。以降、少女雑誌が成長期の子供に与える教育文化的影響力は、当時の諸外国にも例がないほどでした。その理由としては、①子供の高い識字率と文部省による綴り方教育の浸透②投書文化(編集部と読者のツウウェイ)の広がり③雑誌の流通網の整備等があげられます。絵双六は雑誌の付録の定番としてつくられました。この双六は大正5年のものですが、子供を教育する上でのわかりやすいメディアとして、少女の暮らしの価値観に大きな影響を与え、夢や憧れをおおいに育みきました。

振り出しは、振袖姿で少女画報を読む二人の乙女です。ここから躰や習いごとのコマとして、掃除、裁縫、生花、琴、読書、運動、割烹、接客、お守り、園芸などが登場します。また、朝寝、落第、虚栄のコマに止まると、「これから気を付けます」といってお辞儀をする」との罰ゲームが待っています。上りは、三人の子供に囲まれた親子のお正月の団欒風景。典型的な

良妻賢母のシーンです。この双六に登場する少女は、いずれも綺麗な着物をまとっています。運動をする少女はテニスのラケットを持っています。全国の子供が憧れる「いいところのお嬢さん」の典型的な暮らしが随所に見られます。お行儀の悪いものは描かれていません。虚栄のコマの娘さえ粹な袴姿ではありませんか。

上りは三人の子供に恵まれた  
母親のお正月団欒風景

●吉田 修(よしだおさむ)プロフィール  
 1954年生まれ。鳥根県松江市出身。公益社団法人全国求人情報協会常務理事、NPOキャリア権推進ネットワーク広報部長、和文化教育学会会員を務める。かたわら、築地双六館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り組んでいる。  
 公式HP: <http://www.sugoroku.net/>  
 ※参考サイト  
 日本の世界一: [http://www.nipponnosekaiichi.com/mind\\_culture/literacy\\_rate.html](http://www.nipponnosekaiichi.com/mind_culture/literacy_rate.html)

▼双六の概要 少女画報双六 大正6年(1917年) 画:小林永二郎 発行所:東京堂 編集者:鷹見久太郎 発行者:島田義三 印刷所:秀英舎  
 「少女画報」<sup>※2</sup> 新年号付録 サイズ:縦77cm×横53cm  
 ※2:「少女画報」は1912年(明治45年)に創刊され、大正中期に、まだ無名だった吉屋信子を起用し、「花物語」を掲載したことで部数を伸ばしました。



# 時代の女性の願いを映す双六④ 上りは多産の母。 勤勉に働く多職種の 女性を描いた大正の双六

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる女性たちの  
 願いや憧れと共に、置かれていた立場や階層・社会通念・  
 社会の要請などが見事に表現されています。  
 「女性の育てられ方や人生観の変化」を  
 感じ取っていただけることでしょう。

## 一家に5人の子供がいた時代

上りのコマでは、お母さんが  
 百人一首の札を読んでいます。子  
 供の数は8人。親戚の子もいるか  
 もしれません。華やいた正月の  
 シーンが目につかびます。大正14  
 年(1925年)の合計特殊出生  
 率(一人の女性が産む子供の数の  
 平均)は5.1人でした。取り札  
 を競う子供の目が真剣です。それ  
 が、平成28年(2016年)には  
 1.4人にまで低下します。その  
 結果、大勢が集まって遊ぶゲーム

## 26種類の女性の 仕事や職業を紹介

は廃れ、おひとり様かネットつな  
 がりのゲーム全盛の時代になりま  
 した。この上がりは絶滅危惧シ  
 ンと言っているでしょう。  
 振り出しは「御年始」で始まり、  
 当時の女性の習い事や仕事のコマ  
 が展開されます。習い事として音  
 楽・生花・踊り・茶の湯・裁縫を、  
 伝統的な仕事として髪結び・稲刈  
 り・花売り・機織り・養蚕・漁夫  
 の娘を、先端的な仕事として工女・  
 事務員・電話交換手などを紹介し

## 憧れの電話交換手

昭和6年(1931年)に発行  
 された「現代女子職業総覧」(予  
 防時代社発行)によれば、電話交  
 換手について「電話交換手には官  
 設電話交換手と私設電話交換手が  
 あります。各地方電話局ごとに女  
 学校程度の養成所があり、3〜6  
 カ月の修業期間を経て免状が発行  
 されます。修業中はわずかなが  
 らも手当が支給され、初任給は日  
 給で60銭〜1円20銭で夜勤手当も  
 ありました。ただし、袴着用の規  
 則があったようです。私設電話交  
 換手は月給30円〜45円、3年も勤  
 務すれば60〜70円程度にはなるで  
 しょう。」と書かれています。大  
 正9年の公立小学校教師の初任給  
 は50円と言われており、女性に  
 とっては収入の多い憧れの職業  
 だったのです。

## 女性が支えた農業、紡績業、 サービス業

大正9年(1920年)の女性  
 の就業者数は1014万人で全就  
 業者数の37.6%を占めていまし  
 た。そのうち、男性よりも就業者  
 数の多い産業は、農業、紡績、衣

服・身廻品、興行娯楽、対個人  
 サービス業、煙草などでした。と  
 りわけ農林水産業の第一次産業は  
 632万人(女性就業者数の62.  
 3%)を占めています(※1)。  
 この双六では仕事や暮らしが  
 都会と地方で対比的に描かれてお  
 り、登場する女性がいずれも美し  
 い装いの仕事着であるのが少女雑  
 誌らしいところです。

※1…岡崎陽一氏(元人口問題研究所長)  
 の論文「わが国の女子労働力・就業形態と  
 その変化(一)」を参考にした。

●吉田 修(よしだおさむ)プロフィール  
 1954年生まれ。島根県松江市出身。公益  
 社団法人全国求人情報協会常務理事、NP  
 Oキャリア権推進ネットワーク広報部長、和文  
 化教育学会会員を務める。また、築地双六  
 館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り  
 組み続けている。  
 公式HP: <http://www.sugoroku.net/>

▼双六の概要 少女生活双六 大正12年(1923年)  
 案:下田惟直 画:露谷虹児 編集者:鷹見久太郎 発行者:島田義三 発行所:東京社 印刷所:秀英舎  
 少女画報新年号付録 サイズ:縦80cm×横54cm



▲▼大正12年9月1日に起こった大正(関東)大地震はマグニチュード7.9、死者・行方不明者は10万5千に達した。翌年には写実的かつ教訓的な双六が発行された。

■ 第1回国勢調査と現代の比較(大正9年と平成27年)

事項/時代	1920年(大正9年)	2015年(平成27年)
人口	5596万人	1億22711万人
15歳未満人口の割合	36.5%	12.7%
65歳以上人口の割合	5.3%	26.7%
平均寿命	男42.06歳・女43.20歳	男80.79歳・女87.05歳
労働力人口	2586万人	6598万人
第一次産業の就業率	54.9%	3.5%

※出典:総務省の国勢調査と労働力調査から筆者が一覧にしたものである

●吉田 修(よしだおさむ)プロフィール:1954年生まれ。島根県松江市出身。公益社団法人全国求人情報協会常務理事、NPOキャリア推進ネットワーク広報部長、和文化教育学会会員を務めるかたわら、築地双六館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り組む。公式HP: <http://www.sugoroku.net/>



時代の女性の願いを映す双六⑤

# 関東大震災が起こった大正12年の少女たちの憧れの職業は 万年筆を持つ知的で美しい女流作家

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる女性たちの願いや憧れと共に、置かれていた立場や階層・社会通念・社会の要請などが見事に表現されています。

双六収集家の吉田修氏の協力を得て、

日本の明治時代からの女性の人生を描いた双六をシリーズで紹介していきます。

この時代、カフェの女給や少女事務員とともに尼僧という選択もあったことが解ります。

第1回国勢調査にみる大正という時代

第1回国勢調査が実施されたのは、この双六と同時代の1920年(大正9年)です。当時と現代を比べてみましょう(右ページ表組)。当時の人口も平均寿命も現代の半分、15歳未満人口の割合は現代の3倍です。就業者数の過半数が第一次産業に従事していました。例えば、農家に生まれた女子は、農作業や家事労働を助け、結婚・出産・育児を前提とした人生を送ることを当然のこととして受け容れていたのではないのでしょうか。ゆえに、少女事務員、カフェの女給、看護婦、女学生に憧れをもって双六に興じたことと思います。

小学校教科の時間割の比較

大正と平成における小学校の時間割も比較してみました(下表組)。国語や修身の時間が大幅に減り、その分が理科やその他の活動時間に振り分けられました。当時、女子には裁縫が必須科目でした。国語の時間が減ることは子供の本質に良くも悪くも影響を与えます。平成12年からスタートし道の徳の時間以上に時間を占めている

「総合的な学習」とは何でしょうか? 「児童自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることをねらい」としているそうです。筆者が平成15年に、総合的な学習の一環として、慶應幼稚舎の児童に「夢をかなげるためのすころく」作成の授業を行ったことを思い出しました。双六もりっぱな教育教材になるのです。

憧れの女流作家 今やYouTube

上りは眉目秀麗な女流作家です。少女画報で人気を博した吉屋信子や野上弥生子をイメージさせます。ほんの一握りの人しかなれない職業です。さて、平成30年に小学校に入学した1年生に就きたい職業を尋ねたクラレのアンケート結果にちよつとした異変がありました。男子の15位(1・4%)に初めて、動画を投稿

■ 小学校の時間割比較(大正8年と平成28年)

学年	教科	大正		日本歴史地理		算術		理科		生活		唱歌		体操		裁縫		図画		修身		総合的な学習の時間		特別活動		合計
		大正	平成	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	体育	家庭	図工	道徳	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動	合計									
1年	大正	10	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	21	
	平成	9	-	4	-	3	2	3	-	2	3	-	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	25	
2年	大正	12	-	5	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	23	
	平成	9	-	5	-	3	2	3	-	2	3	-	2	1	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	26	
3年	大正	12	-	6	-	-	1	3	-	1	3	-	1	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	25	
	平成	7	2	5	2.6	-	1.7	3	-	1.7	3	-	1	1	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	27	
4年	大正	12	-	6	2	-	1	3	女2	1	2	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	27/女29	
	平成	7	2.6	5	3	-	1.7	3	-	1.7	3	-	1	1	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	28	
5年	大正	9	4	4	2	-	2	3	女3	2	3	女3	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	28/女30	
	平成	5	2.9	5	3	-	1.4	2.6	1.7	1.4	1	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	28	
6年	大正	9	4	4	2	-	2	3	女3	2	3	女3	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	28/女30	
	平成	5	3	5	3	-	1.4	2.6	1.6	1.4	1	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	28	
合計	大正	64	8	30	6	-	26	女8	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	152/女158	
	平成	42	10.5	29	11.6	6	10.2	17.2	3.3	10.2	6	2	8	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	162	

出典:文科省HP「学習百年史」の「尋常小学校の教科目別週間教授時数(大正8年)」の図と平成28年2月22日教育課程部会小学校部会の「小学校の各教科等の時数(1週当たり単位時間)」の図を筆者が一覧にしたものである。教科内容が異なるので比較する場合は留意が必要である。

稿して多額の広告収入を得るYouTubeチャンネルが人気です。AIによって、雇用の50%以上がコンピュータに代替されるという話もありますが、米デューク大学の研究者であるキャシー・デビッドソンによれば、「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時には今は存在していない職業に就くだろう」と予測しています。職業や職種、「多死・多産の時代」を迎えつつあることを実感します。



時代の女性の願いを映す双六⑥

# スポーツの領域が拡大し、トロフィーを携帯してのお輿入れが理想だった大正時代の女性

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる女性たちの願いや憧れと共に、置かれていた立場や階層・社会通念・社会の要請などが見事に表現されています。「女性の育てられ方や人生観の変化」を感じ取っていただけることでしょう。

**天保3年 女性の富士山初登頂**  
Sports (スポーツ) は、ラテン語の portare (ポルターレ) ものを運ぶ)に由来したものであり、やがて、仕事や生活から離れる、気分転換をするという意味に転じました。掛水通子(かみづとこ)東京女子体育大学学教授によれば、明治時代の女性には、三種類のスポーツに出合ったとのこと。一番目は外国人女性性宣教師によって女性に適していると思われていたスポーツが移入されたもの。二番目は日本に移入された後、女性にふさわしくない部分が削除されたり、女性向きに改良されたもの。三番目は日本に移入された時、女性にふさわしくないとして行われず、また、行われても後に禁止されたもの。「そのスポーツが女性に適している

か」が判断の基準でした。別表は戦前の日本における女性スポーツの歴史をまとめたものです。女性スポーツの領域が時代と共に広がっていったことがわかります。この中で、江戸時代の高山たつ(高山右近の直系子孫)の業績が燦然と輝いています。彼女は富士山の登頂にあたり、こういう言葉を残しています。「私が頂上へ立つことで女の道が開けるのです。頂上に立った私の命が終わるとも、どうかお連れください」と。彼女は女人禁制に果敢に挑戦し、時代を切り拓いた立派なアスリートだったのです。

## モダンでポップ！大正時代の女性スポーツ

大正から昭和初期は「モダン」が流行し、都市の大衆文化が花開いた時代です。主婦之友の付録で

## 結婚でスポーツ人生にピリオド

振り出しは白い帽子に紺のスカートと白地に赤のVネックセーターの女性群の入場シーンです。テニス、水泳、ヴァレーボール、バスケットボール、ベースボール、ゴルフ、ランニングなどのシーンを経て、銀の優勝カップで上がり。面白いのはゴルフ直前にある「結婚」のコマです。6の目が出れば「新世帯が忙しゅうてスポーツなんぞして居られないさうだからこのゲームだけ脱退」、1の目が出れば「トロフィーを沢山携帯してお輿入れだから上がり」。結婚が女性の

## 戦前の日本における女性スポーツの歴史

女子スポーツ界の出来事	女子スポーツ界の出来事
1832年(天保3年)	高山たつ(当時25歳)が男装をして女人禁制の富士山に登頂
1883年(明治16年)	女子師範付属高等学校の規則において「体操」が定められた
1886年(明治19年)	松岡彪が「小学女子体操書」を著す
1896年(明治29年)	後に日本女子大学を設立する成瀬仁蔵は、著書「女子教育」の中で女性の体育教師養成を提起する。梅花女学校校長時代に日本初となる「球籠遊戯」(日本式バスケットボールの原型)をカリキュラムに採用、後に自ら創立した日本女子大学でも「球籠遊戯」をカリキュラムに採用した
1902年(明治35年)	長野県立女子高等学校が戸隠山登山を開始
1902年(明治35年)	女性体操教員の養成を目的として東京女子体操学校が設立された
1905年(明治38年)	女子高等師範学校教授の井ノ口阿くりが「女生徒の運動服(ブルマー型体操服)」を提案
1910年(明治43年)	全国師範学校長会議で「女子に適当な課外の運動」として薙刀、水泳、弓術、水滑り、庭球の5つが挙げられた
1920年代前半(大正初期)	新潟県高田において袴姿にスキー板を着け、長い1本杖で滑る女性のスキーヤー登場
1920年代(大正中期)	女学校間で対抗戦や女子の地域大会が開かれるようになり、陸上競技、水泳、野球、テニス、バレーボール、バスケットボールなどの種目で全国大会が初めて行われた
1922年(大正11年)	第1回全国女子競泳大会が東京府多摩川水泳場で開催された
1923年(大正12年)	お茶の水高女の軟式テニスのペア田村富美子と梶川久子が初めての国際試合に参加
1923年(大正12年)	第6回極東選手権で女子バレーボールの初の国際試合
1926年(大正15年)	国際大会に日本の女性代表選手を送るための組織として「日本女子スポーツ連盟」を設立
1928年(昭和3年)	アムステルダムオリンピックで人見絹江が女性初のメダル(銀)獲得
1936年(昭和11年)	岡田早苗が初のプロテニスプレーヤーになる
1936年(昭和11年)	前畑秀子ベルリンオリンピックで女性初の金メダル獲得
1936年(昭和11年)	稲田悦子が12歳でドイツで行われたガルミッシュパルテンキルヘンオリンピックにフィギュアスケート選手として出場。戦前の冬季オリンピックに参加した唯一の日本人女子選手



●吉田 修(よしだおさむ) プロフィール  
1954年生まれ。島根県松江市出身。公益社団法人全国求人情報協会常務理事、NPOキャリア推進ネットワーク広報部長、和文化教育学会会員を務める。かわら、築地双六館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り組んでいる。  
公式HP:  
<http://www.sugoroku.net/>

スポーツキャリアに決定的な影響を与えた時代だったのだ。



時代の女性の願いを映す双六⑦

# 国に貢献したい女性を集めた「愛国婦人会」の幅広い活動を 紹介した昭和戦前の双六

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる女性たちの 願いや憧れと共に、置かれていた立場や階層・社会通念・ 社会の要請などが見事に表現されています。 「女性の考え方や社会環境の変化」を 感じ取っていただけることでしょう。

愛国婦人会の創設者 奥村五百子

読者はこの双六を見て、版元である愛国婦人会を「戦時体制作り」に積極的に協力し、庶民を苦しめた婦人団体」と感じられるのではないのでしょうか。しかし、それはこの団体の一側面でしかありません。愛国婦人会は、奥村五百子(弘化2年〜明治40年)が明治34年に創設した婦人団体です。戦死者の遺族や傷痍軍人の救護が主な目的でした。奥村は唐津の浄土真宗のお寺に生まれ、父兄の影響を受け、尊王攘夷運動に加わりました。その後、社会運動家として朝鮮に渡り、光州に実業学校を設立し、明治34年には、将兵慰問、遺家族援護を目的とする愛国婦人会を結成。全国を遊説し、会員の拡

大に努めました。愛国婦人会は、近代日本で最初の全国的規模の婦人団体で、日本国内にとどまらず、海外拠点も展開し、最盛期には311万人も会員を持つ、大きな組織になりました。

民間の厚生労働省のような 事業内容

別表にあるように、全盛期の愛国婦人会は現在の厚生労働省雇用環境均等局と子ども家庭局の領域に含まれるような事業内容でした。当時、女中(現代のお手伝いさん)の養成、妊産婦支援、身売りの防止が大きな社会問題であったことがわかります。会の礎を築いた奥村五百子はNHKの朝ドラの主人公になってもおかしくないような熱血女史でした。この双六は奥村が亡くなって22年後のもの

いので書き添えておきます。 強力な双六の広報宣伝機能

双六の遊び方の説明にはこう書いてあります。「(この双六は)国のためになることならば何でもやりたいという立派な心がけの婦人方が二百余万人という多人数が集まって出来上がった。我が国でも有名な婦人団体愛国婦人会の事業を表しているものであります」。振り出しは、愛国少女団と愛国処女団が描かれたコマです。その上にある横断幕は「半衿一かけを節約して愛国婦人に」という意味の呼びかけです。各コマはコードモ智能相談、乳幼児健康審査会、児童教育適性相談所、託児所・幼稚園、学校給食、失業並びに経済保護・職業紹介所、窮民者罹災民救助などの社会事業と、慰問袋、留守宅努力援助、戦病死者慰霊弔祭の軍事救護事業で構成されており、本部総会で上がりです。双六には強力な広報宣伝機能があり、しばしば国家に利用されてきた歴史があります。とりわけ、戦前の昭和時代の戦意高揚双六には辟易とさせられるものが多いのも事実です。

愛国婦人会の女性を対象とする 施設事業一覧(1936年)

本部・支部の施設事業	妊産婦保護	産院 巡回委託産婆 妊産婦健康相談所 産具無料配給
	経済保護	婦人職業紹介所 家政婦派出所 女中養成所 女子授産場 婦人宿泊所 母子ホーム 身売防止資金貸付
	人事相談	人事相談所
	養老事業	養老院
	教育教化事業	女学校 夜間女学校 家庭寮 隣保館 各種展覧会 機関誌発行 講演・講習・映画・座談会
市区町村分会の施設事業	妊産婦保護	巡回委託産婆設置 妊産婦健康相談・産具無料給与 妊産婦診療所 病院利用無料助産取扱 無料助産券交付
	経済保護	職業紹介 授産場 副業斡旋 内職指導 生産資金貸付 人事相談 女学校卒業生に身売防止 身売防止資金の貸付に援助協力
	教育教化施設	女中夜学校 花嫁学校 夜間女学校 研究会・品評会 各種講演・講習・映画会開催 他町村・有料施設見学 育児展覧会

※出典:関西国際大学 清水美知子教授 2001年 研究紀要 101P「愛国婦人会の<女中>をめぐる社会事業: 両大戦間期を中心に」より抜粋

●吉田 修(よしだおさむ)プロフィール

1954年生まれ。鳥根県松江市出身。公益社団法人全国求人情報協会常務理事、NPOキャリア権推進ネットワーク広報部長、和文化教育学会会員を務めるかわら、築地双六館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り組み続けている。 公式HP: <http://www.sugoroku.net/>

時代の女性の願いを映す双六⑧

# 自由主義と女権の拡張をめざした婦人公論は、知的でお洒落な双六を創った

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる女性たちの願いや憧れと共に、置かれていた立場や階層・社会通念・社会の要請などが見事に表現されています。「女性の考え方や社会環境の変化」を感じ取っていただけることでしょう。

## 婦人公論の伝説の編集長 三枝佐枝子氏

この双六を考案した婦人公論は、「自由主義と女権の拡張を目ざす」をコンセプトに大正5年に創刊され、平成28年に創刊百周年を迎えました。戦前は主婦之友、婦人画報、婦人倶楽部と併せて4大婦人雑誌と呼ばれていました。婦人公論といえば、三枝佐枝子氏を抜きには語れません。三枝氏は1941年、日本女子大学を卒業し、1946年に中央公論社へ入社、1958年に婦人公論の編集長に就任。日本で初めて商業誌の女性編集長となりました。1973年には商品科学研究所所長を務め、1984年には山梨県立総合婦人会館館長と県教育委員

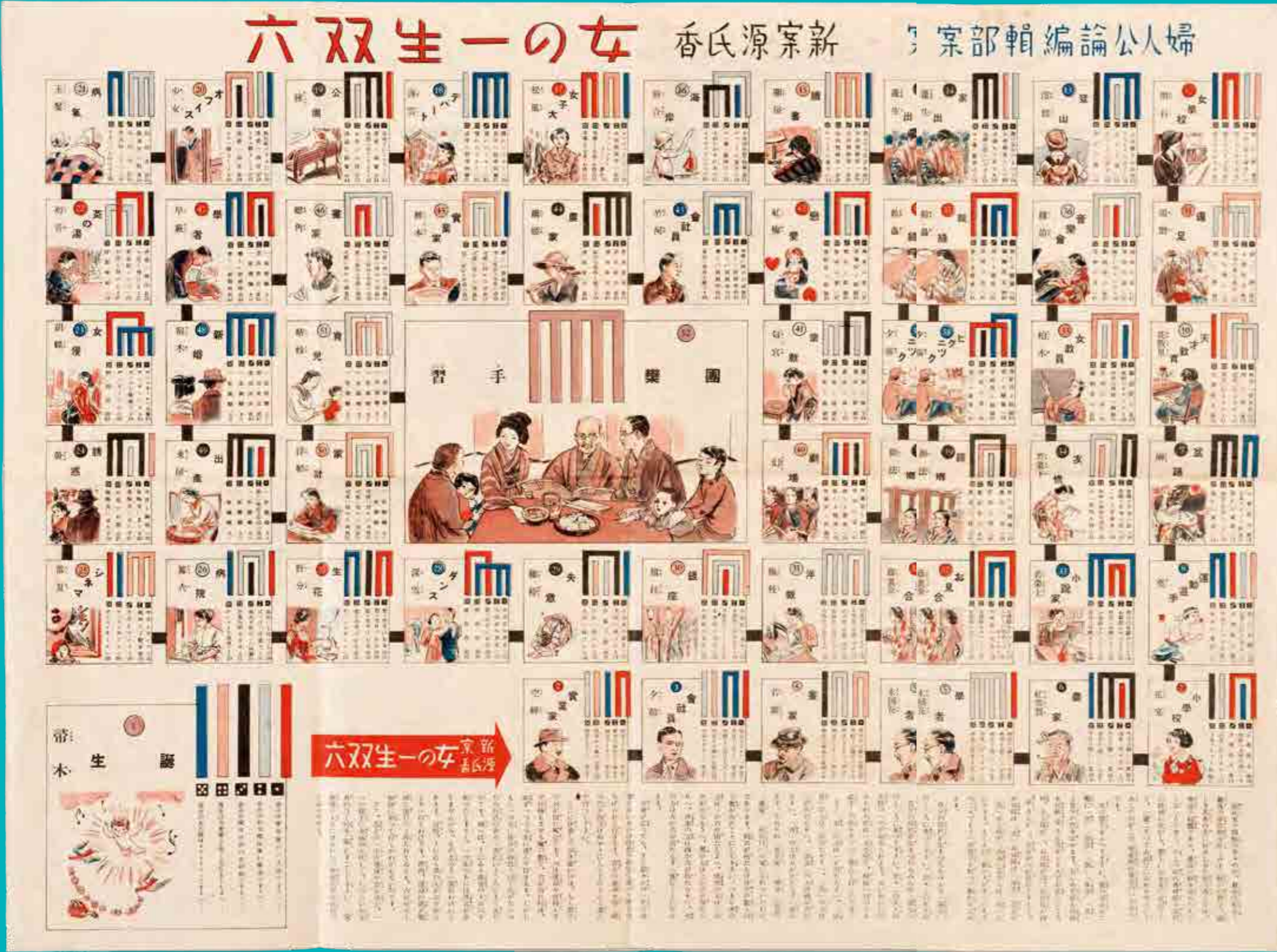
を務められました。

## 心に響く12の金言

三枝氏は男女雇用機会均等法成立以前の時代に、男尊女卑の職場環境の中で、戦後の女性キャリアウーマンの先駆けとして颯爽と生き抜かれた方です。三枝氏の著書から別表の金言集を作成してみました。働く女性のパイオニアとしての気概、編集者としてのキャリアの錬磨、人生の深淵を見つめる感受性が私たちに伝わってきます。

## 源氏香をあしらった雅な双六

源氏香とは江戸時代に楽しまれていた香り当て遊びです。五つの香に対応する五本の縦線の



### ■ 婦人公論 “伝説の編集長”三枝佐枝子氏の心に響く12の金言

分野	金言	内容
人間関係	一に報告 二に報告 三に信頼	仕事の報告をし、了解を得、正しい指示を受けることで上司の信頼を得る。
	秘密は絶対守られない	職場の人間関係からマル秘情報まで情報管理に慎重でなければならない。(当時の毎日新聞西山事件を踏まえて)
	借りをつらず貸しをつくる	男女の別なく職場では対等であり、仕事でも金銭でも借りをつくらないように。
仕事の仕方	必ず時間を守る	作家の三島由紀夫先生との約束に5分遅れたら「あなたと話をすることは、待っていてくれるたくさんの人の時間を盗むことになる。今日はこのまま帰ってほしい。」と叱責された。
	仲間と違ったニュースソースを持つ	接するメディアや交友関係を一新したら、ユニークな発想・提案が生まれる。それは仕事を楽しくしてくれる。
	相手は評価を気にしている	谷崎潤一郎先生も井上靖先生も松本清張先生も一編集者である私の反応を気にかけられる。だから、原稿をいただとその場で感想を申し上げた。仕事にご協力をいただいた方への感謝の表し方のひとつである。

分野	金言	内容
仕事の仕方	苦手な仕事を克服するには	苦手な仕事を先にやろう。結果が良くても悪くても結論ができればほっとする。
	キャリアウーマン	気負いを大切に ビジネス界で一番になるうとするならば、よく気がつき、相手の気持ちを察することで、私の知る限り抜群の気負いのできる方は女優の高峰秀子さんだ。一流の人とおつきあひし、訓練されている方だ。
人生	自分のつらい時は相手もつらい	文芸評論家の亀井勝一郎氏の著書に「自分の荷物は重くて、他人の荷物は軽く見える」とあった。自分が勝てないのは相手が自分以上に努力しているからなのだ。
	ミスはいさぎよく認める	婦人公論の女流新人賞の入選作品がフォークナーの作品の一部からの盗作であった。編集長として一切の責任を負い、すぐに発表し、世間に詫言した。
	不幸を乗り切る技術	作家の宇野千代氏は幸福を知る才能を持っている。「辛いことがあると、そこに体ごと飛び込んで行く。そうすると辛いと思うことが慣れてくる。慣ればそれほど辛いと思わなくなる。それが生活の術。」という。

\*本表は三枝佐枝子「働く女性のこしいキャリア術」(大和書房・1988年)から筆者が抜粋したものである。また、同氏のご経歴はWikipediaを参考にした。

上部を、同じ香りとする場合に接するということによりできる五二図を桐壺と夢浮橋の二帖を除いた源氏物語の各帖に配したものです。

昭和12年は日中戦争の発端となった盧溝橋事件が起こった年ですが、婦人公論新年号には、この知的でお洒落な双六が付録として添えられました。5つのコース別展開になっており、源氏物語各帖を各コマの香の名に配しています。振り出しは「誕生(帚木)」。サイコロを振って、出た目で5つのコースを進んでいきます。①「実業家の一人娘」コースは女学校、裁縫・恋愛・学者。②「お父様は偉い学者」コースは天才教育・音楽家・書家。③「家は田舎のお百姓」コースは盆踊り・家出・出産・農家。④「美術家の子供」コースは読書・シネマ・オフィス・家計。⑤「お父様はサラリーマン」コースは登山・新婚・病氣・会社員。上がりは共通で「団楽手習」です。凝った展開の割には、明治以来の良妻賢母のワンパターンなのですが、軍靴の響く時代にあつては、編集部が描く夢にも制約があつたのかもしれない。

時代の女性の願いを映す双六⑨

# 戦時救護とともに災害救護の事例を示して国民の理解・協力を求めている赤十字の双六

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる人々の願いや憧れと共に、生活環境や階層・社会通念・社会の要請などが解りやすく表現されています。「女性の生き方・役割とともに社会環境の変化」を感じ取っていただけることでしょう。

## 振出しはアンリ・デュナンとナイチンゲール

「傷ついた兵士はもはや兵士ではない。人間である。人間同士としてその尊い生命は救われなければならぬ」。これは、国際赤十字組織生みの親であり、第一回ノーベル平和賞受賞者でもあるスイス人のアンリ・デュナンが、1859年イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノで悲惨なありさまを目の当たりにし、後に著書に記した言葉です。

クリミア戦争でナイチンゲールの活動に強い刺激を受けたデュナンの提唱により、1863年に各国の赤十字社と赤十字国際委員会が発足しました。翌年、ジュネーブ会議において赤十字条約が16カ国で締結され、国際組織として成

立しました。

日本赤十字社の前身は、元老院議員で後に伯爵となった佐野常民らが西南戦争時に熊本洋学校に設立した博愛社です。博愛社は、ジュネーブ条約に調印した政府の方針により、明治20年に日本赤十字社と改称しました。現在の日本赤十字社は、日本赤十字社法によって昭和27年に設立された認可法人です。この双六は、アンリ・デュナンとナイチンゲールが振り出した、数々の救護活動を経て、国際赤十字会議への出席で上がりとなります。

## 昭和初期の赤十字活動 生き生きと

この双六には、昭和6年という時代背景と大阪という地域色がよく表れています。(3)のマス

注釈には「戦争の起った場合赤十字社は軍隊衛生部を扶けて敵味方の区別なく傷病者を救護する」と書かれています。

水害救護(大)

正6年三島郡大冠村大塚(現在の高槻市大塚)の堤防決壊や震災救護(昭和2年奥丹後地震)の様子が活写されています。

別表をご覧ください。昭和5年の死因順位は、胃腸炎や肺炎という感染症が深刻な死亡原因でした。結核も当時は不治の病と言われていました。抗生物質や特效薬のない時代で、乳幼児の死亡率は現在の65倍でした。これらへの対応として、結核療養所、巡回診察、看護婦家庭訪問、妊婦育児相談所、夏季児童保養所などが描かれています。

赤十字社は戦前から現在まで広報上手です。寄付や献血の募集、地域への防災・衛生教育、人材採用・育成など国民の深い理解と支援が必要だからです。ホームページもよく出来ています。

私は採用情報の中で職員の方が語る「自身の赤十字人としての体験」が好きです。是非、ご覧ください。(http://www.jrc.or.jp)。

昭和6年は柳条湖事件が勃発し、犬養毅内閣が成立した年です。日本赤十字社にとって戦時援護が主な活動になる時代に突入していったのです。



### ■ 死因順位と乳児死亡率の比較

死因順位	2017年(平成29年)	1930年(昭和5年)
1位	死因 悪性新生物(がん)	死因 胃腸炎
2位	死因 心疾患	死因 肺炎及び気管支炎
3位	死因 脳血管疾患	死因 全結核
4位	死因 老衰	死因 脳血管疾患
5位	死因 肺炎	死因 老衰
千名あたりの乳幼児死亡数	1.9	124.1

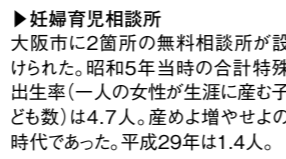
\*厚生労働省統計情報部「人口動態統計」による。\*全結核は肺および肺外結核を合わせたもの。

### ● 吉田 修(よしだおさむ)プロフィール

1954年生まれ。鳥根県松江市出身。公益社団法人全国求人情報協会常務理事、和文化教育学会会員を務めるかたわら、築地双六館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り組んでいる。 公式HP: http://www.sugoroku.net/



◀観艦式拝観  
 昭和5年10月26日に神戸沖で行われた特別大演習観艦式では、赤十字社特別社員(二百円以上寄付)以上の正社員はありぞな丸(大阪商船の海外航路用貨客船、1942年にソロモン水域で米軍機の攻撃を受け沈没)艦上で拝観の栄を与えられた。



▶妊婦育児相談所  
 大阪市に2箇所の無料相談所が設けられた。昭和5年当時の合計特殊出生率(一人の女性が生涯に産む子ども数)は4.7人。産めよ増やせよの時代であった。平成29年は1.4人。



◀救護員養成  
 救護員(看護婦)の養成は最も重要な事業であり、大阪支部は毎年60名内外を病院に委託して養成した。

▼双六の概要 民主化のあり方双六～採決の巻～ 昭和20年代前半(1945～1950年)

発行所:児童民主化教育連盟 監修:井上定宜先生 サイズ:縦54.5cm×横76cm



▲15 14は、振出しに戻って考えさせるコマです。多数決方式を採用すると同時に少数の者も充分に見解を表明出来る規定を設ける。

てよいか、少数意見の尊重、賛否以外の意見は採決前に討議するなど、今日の国会においても教訓とすべき内容と言えそうです。

**社会科を教えられる先生がいない時代**

昭和30年代後半、私の小学校の男性の担任の先生がこのようにおっしゃったことを覚えています。「私は戦前の教育を受けたので、皆さんに社会科を教えることができません」と。昭和20年代に制作されたこの双六をみると、民主主義や多数決の原理について体験や信念をもって児童に教えることができる先生が本当に少なかったことに気づきます。ゆえに双六なのです。国立教育政策研究所の「我が国の学校教育制度の歴史について」によれば、教員免許制度創設(昭和24年)の解説として、「教員の慢性的不足及び無資格教員(昭和25年当時全教員の4分の1)の解消を図るため、教員免許制度を創設し、教員養成系大学以外で教員の資格を取得できる開放性を採用」とあります。別表を見れば終戦直後の先生不足を女性教員の採用数の増加で乗り切ったことがわかります。

■戦前・終戦直後・現在の教育体制比較

	小学校数(校)	児童在籍数(名)	教員数(名)	教育改革の目標	背景
昭和11年(1936年)	(尋常小学校) 2万900	1156万	26万 男女比=68:32	心身を一体とした皇国民錬成の方法を確立する	満州事変後における内外諸情勢の著しい変化に基づいて、教育の制度・内容を刷新するという使命を持つ教育審議会を昭和12年に設置
昭和25年(1950年)	2万5800	1119万	30万 男女比=51:49	戦後教育の再建(昭和20～27年)～教育刷新会議の提言に基づく戦後教育の構築～	占領下における教育の民主化
平成30年(2018年)	1万9800	642万	42万 男女比=38:62	教育改革国民会議以降の教育改革(平成12年～)～新しい時代にふさわしい教育、豊かな人間性の育成～	・冷戦構造の崩壊、経済社会のグローバル化、いじめ、不登校、学級崩壊、凶悪な青少年犯罪の続発、行き過ぎた平等主義による教育の画一化、時代の流れに取り残されつつある教育システム・公立学校・公教育への不信、大所高所に立った教育論の欠如

出典:文科省の「学校基本調査」、「戦後教育改革の流れ」、「学制100年史」をもとに筆者が作成した。

●吉田 修(よしだおさむ) プロフィール  
1954年生まれ。島根県松江市出身。公益社団法人全国求人情報協会常務理事、和文化教育学会会員を務めるかわら、築地双六館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り組んでいる。  
公式HP:  
<http://www.sugoroku.net/>

時代の女性の願いを映す双六⑩

# 戦前は選挙粛正を教えていたが、戦後は「民主主義のあり方」について子どもたちに教えた双六

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる人々の願いや憧れと共に、生活環境や階層・社会通念・社会の要請などが解りやすく表現されています。当時の人々の常識や生き方・役割とともに「社会環境の変化」についてリアルに感じ取っていただけることでしょう。



▲双六の概要 子供に出来る選挙粛正双六1936年(昭和11年) 発行所:東京府選挙粛正部 形態:冊子「選挙粛正児童綴方佳作集」(A5判・150頁)とポスター(縦52cm×横39cm)があり、写真の双六は前者に綴り込まれたもの。

**違和感ある子供向けの選挙粛正双六**

選挙に関する戦前と戦後の双六を紹介します。一つは、東京府会議員総選挙の小学生向け啓発双六です。「子供に出来る選挙粛正」がテーマです。この双六を教師が児童に説明し、選挙の粛正についての作文を募集し、佳作を表彰するというものです。下の戦前の双六は、「神の喜ぶ子供の心」で振出し、「模範選挙は東京から」で

上がりです。この背景には、普通選挙法が制定され政党内閣時代が全盛になるに従い、票の買収が横行したため、選挙粛正運動が展開されたという実態があります。昭和10年に選挙粛正委員会令が公布され、選挙粛正運動は在郷軍人会、青年団、部落会・町会・婦人会を組み合わせ、戦時協力体制を構築する推進力となっていきます。現代からみれば違和感のある双六です。別表の時代背景をみればその

理由がわかります。

**戦後の民主化の息吹 生き生きと**

民主化とは物事の考え方や体制が民主的に変わっていくことです。二つ目の双六では「採決の巻」と銘打って、多数決の原則について子供向けにわかりやすく描いています。シンプルながら、教育双六として十分に機能する内容になっていきます。全員一致が必要かどうか、一人でも多数なら決め

時代の女性の願いを映す双六⑪

# 憧れの職業に就くには、 さなざまな壁を突破する覚悟が 必要なことを教えている双六

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる人々の  
 願いや憧れと共に、生活環境や階層・社会通念・  
 社会の要請などが解りやすく表現されています。  
 「女性の生き方・役割とともに社会環境の変化」を  
 感じ取っていただけることでしょう。

若者の夢を育む職業双六

戦後間もない時代に憧れの職業  
 を目指す若者の夢や気概が表れて  
 いる双六です。振り出しは、男女  
 の学生がなりたいた職業を語るシー  
 ン。以下の4つのコースごとに展  
 開され、それぞれのコマでは刻苦  
 勉勵のセリフが語られています。  
 ①美学家。経済日本のために働き  
 たい、荷造りの仕事からやらされ  
 た、身がつかれると心まで狂って  
 しまう。②教育家。教育者は自分  
 自身正しい道を歩かなければなら  
 ぬ、まず小さいよい子をたくさん  
 作る努力をした。③野球選手。野  
 球選手として身を立てるよ、始め  
 はいやな球拾いばかり、猛練習  
 の連続だった。④女医。世の中の  
 病人をなくするわ、あまり勉強し

すぎて病気になる、看護を一生懸  
 命やって勉強した。

いばらの道歩んだ  
 女性医師

私は4人の中で、一番苦勞した  
 のは医師を目指した女性だったと  
 思います。職業別女性比率を表す  
 表①をご覧ください。2010年  
 における女性医師比率は19・5%  
 で、OECD加盟国の最下位クラ  
 スです。1965年には9・3%  
 であったことが判明していますの  
 で、戦後間もない頃は数%であつ  
 たと思われまふ。医学部への進学  
 は超狭き門であつた上に、男性中  
 心の医師の世界にあつて、過重な  
 勤務時間や出産・子育てによつて  
 キャリアの中断を余儀なくされる  
 など多くのハードルがあつたと思  
 います。

しずつ切り拓いていったのです。  
 それぞれのやる気スイッチ

キャリア形成においてモチベー  
 ションや向上心を刺激するやる気  
 スイッチは大切です。各人のやる  
 気スイッチを見てみましょう。実  
 業家は社長に認められたこと。教  
 育家はおおぜいの子供から尊敬さ  
 れたこと。野球選手は先輩の激励  
 を受けたこと。女医は博士論文を  
 書くまでになったことでした。専  
 門・技術職のモチベーションの  
 アップ・ダウン要因は表②の通り  
 です。スキルの評価や向上と人間  
 関係が重要なことがわかります。  
 2019年9月28日。歓喜のラ  
 グビーW杯・対アイルランド戦。  
 ハーフタイムでのリーチマイケル  
 主将の言葉。「スクラムで押し続け  
 れば相手は折れる。その時に我々  
 のスイッチがはいる。それまでガ  
 マン・ガマン・ガマンだ」。あなた  
 のやる気スイッチは何ですか？

日本の女性  
 医師の第一号  
 は1885  
 (明治18)年  
 に医療開業試  
 験に合格した  
 荻野吟子です。  
 以降、高き志  
 を持つ女性が  
 医学の道を少  
 数ながら歩ん  
 だ。

●吉田 修(よしだおさむ)プロフィール  
 1954年生まれ。島根県松江市出身。公  
 益社団法人全国求人情報協会常務理事、  
 和文文化教育学会会務を務める。あな  
 地双六館館長として双六の蒐集・研究・制  
 作に取り組む続けている。公式HP  
<http://www.sugokukunet/>



■表① 職業別女性比率

上位		下位	
職業	比率(%)	職業	比率(%)
歯科衛生士	99.9	航空機操縦士	0.3
保育士	97.2	大工	0.9
栄養士	95.4	電気通信設備工事従事者	1.6
看護師	94.2	土木従事者	1.7
幼稚園教員	93.7	消防吏員	1.8
受付・案内事務員	86.9	警察官・海上保安官	7.5
データ・エントリー装置操作員	83.1	税理士	12.9
図書館司書・学芸員	81.6	会社役員	14.5
美容師	76.7	医師	19.5
介護職員	76.7	社会保険労務士	25.1

※資料:総務省の国勢調査(2010年)を基に教育社会学者の舞田敏彦氏が2015年に作成した「232職業の女性比のランキング表」から筆者が主な職業を抽出して作表した。

■表② 専門・技術職のモチベーションの要因

モチベーションアップの要因		モチベーションダウンの要因	
その仕事を通じて、自分の能力やスキルが上がっていると感じられたとき	49%	職場の同僚や仲間との人間関係が悪くなったとき	47%
給与をもらったとき	44%	ずっとひとつの仕事(作業)しかさせてもらえなかったとき	39%
その仕事を通じて人の役に立っていると感じられたとき	38%	その仕事をしていても、自分の能力やスキルが上がっていると感じられないとき	33%
その仕事を通じて自分の視野や人脈が広がったとき	35%	能力があがっても仕事内容がかわらなかったとき	31%

※資料:2009年 an「公開!職種別モチベーションが上がる時、下がる時」調査を参考に筆者が作表した。

時代の女性の願いを映す双六⑫

# 人生100年の未来を予測し、柔軟に仕事と学びを選びながら自らを活かしていく時代へ

築地双六館館長 吉田 修

双六には創られたその時代に生きる人々の願いや憧れと共に、生活環境や階層・社会通念・社会の要請などが解りやすく表現されています。「女性の生き方・役割は社会環境と共に変化中!」女性の長命人生を活かす双六が期待されます。

## 2005年の労働市場と有望百職種

この双六はリクルートワークス研究所と当築地双六館がコラボして、提言書「2005年プロフェッショナル時代の到来」の付録として制作したものです。2005年は若年層の失業者が増え、正社員以外の働き方へと雇用形態が多様化した年でした。このような中で、有望で高い成長が見込まれる戦略百職種一覧(※)を欄外に掲げ、ビジネス・プロフェッショナルを指すというコンセプトの双六を考案しました。振出しは学校卒業。右半分は失業や転職を繰り返すちよっと報われないゾーン。左半分はビジネススキルが着々と身に付くゾーンです。①ビジネス交渉プロ②ビジネス・ソリュート

シンプロ③ヒューマンプロ④研究プロの4つのビジネス・プロフェッショナルそれぞれの上がりを目指します。

## 現代版「ヒトの社会的位置付け図」

今や人生100年時代です。学び直し・リチャレンジの時代でもあります。「ワークシフト」の著者リンダ・グラットン氏によれば、これから生まれる子供たちは50%以上の確率で105歳まで生きるそうです。日本の子供たちはナンと107歳です。これからは、働く・遊ぶ、学ぶ、何もしない期間をどのように組み合わせ、如何に人生を充実させるかが大きな課題になります。ヒトの社会的位置付け図(全国求人情報協会作成)をご覧ください。ヒトは一生を

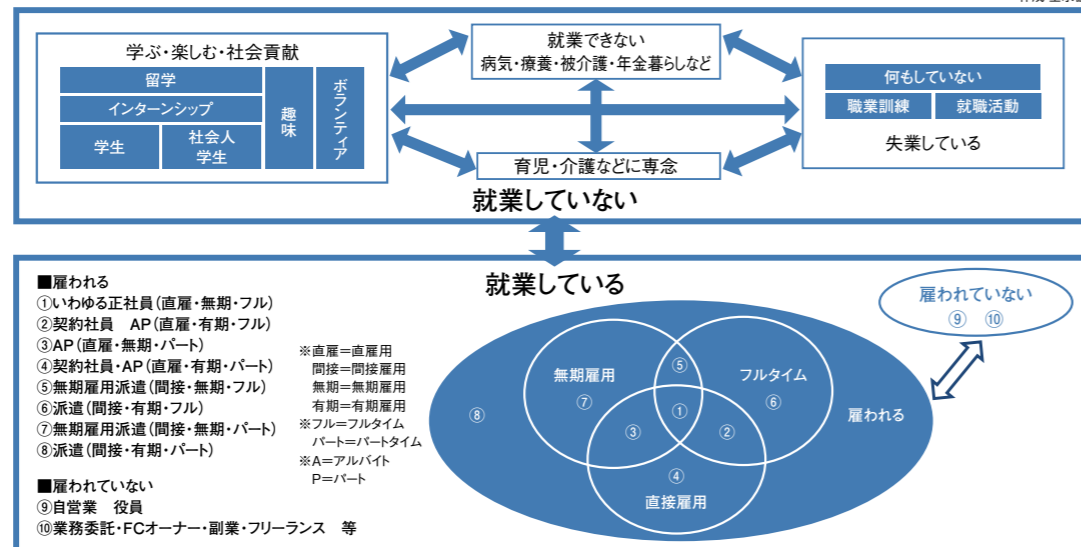
## 日本の女性活躍はこれから本番!

世界経済フォーラム(WEF)が12月17日に世界各国の男女平等度を示す、ジェンダー・ギャップ指数を発表しました。日本は前年順位(110位)から、さらに後退し、2006年の指数発表以降、過去最低の121位に落ち込みました。政府が女性活躍推進の旗を振れどもランキング上昇の気配はありません。しかし、ピュアリーター賞受賞者で敬愛するジャレッド・ダイヤモンド氏は「日本は女性に関しては後進国だが、日本人女性は教育レベルが高いので、ひとたび解放できれば、質の高い労働力を難なく手に入れられる」と述べています。女性の労働人口ボーナス期はこれからののです!

今回で連載を終了します。これまでお付き合いをいただいた皆様は、すっかりスゴロキアン(双六大好き人間)です!



■ 図 ヒトの社会的位置付け図



●吉田 修(よしだおさむ)プロフィール  
1954年生まれ。島根県松江市出身。公益社団法人全国求人情報協会常務理事、和文教育学会会員を務める。筑地双六館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り組む。公式HP: <http://www.sugoroku.net/>







●著者プロフィール●

築地双六館館長 吉田 修



1954年生まれ。島根県松江市出身。公益社団法人全国求人情報協会常務理事、和文化教育学会、国際浮世絵学会の会員を務めるかたわら、築地双六館館長として双六の蒐集・研究・制作に取り組む。

●メールアドレス yosamu@iris.ocn.ne.jp

<著者の双六史>

- 1995年■青山の骨董市で昭和7年の「大東京名所めぐり」に出会う。蒐集の始まり。
- 2000年■「築地双六館」創設、HP「双六ねっと」を立ち上げる。
- 2000年■楊曉捷先生(元国際日本文化研究センターの客員研究員、現カナダ・カルガリー大学教授)と出会い、双六を通じて親交を深める。
- 2000年■城崎山山川温泉「銀花」にて「懐かしの絵双六」展を開催。
- 2001年■インターネット博覧会(通称インバク)に「双六ネット」を出品。堺屋太一 経済企画庁長官より感謝状授かる。
- 2004年■「双六」(文溪堂)を世界一の双六コレクター山本正勝先生と共著で出版。
- 2004年■「和文文化—日本の伝統を体感するQA事典」(明治図書:共著)を出版。
- 2004年■リクルートワークス研究所の提言書の特別付録として「平成版諸職就業形態多様化双六」を作成。
- 2005年■リクルートワークス研究所の提言書の特別付録として「プロフェッショナル時代の到来 専門職業飛廻寿語録」を作成。
- 2006年■共同通信社の依頼により「2006年サッカーW杯日本代表絵すごろく」を監修。
- 2008年■HPの双六ライブラリーに特別展<大正ロマン双六>を増設。
- 2009年■「~古代海洋歴史浪漫~徐福明日葉発見大遠征双六」の作成。
- 2014年■HPの双六ライブラリーに特別展<絵双六に見る職業観の変遷>を増設。
- 2014年■江戸時代(嘉永年間)の仙台の版元の双六版木を入手し、「源氏の武者双六」と「東海道五十三次の道中双六」をアダチ伝統木版画技術保存財団と協働して現代に再現。各紙で報道される。
- 2015年■「法政大学社会人大学院 知的創造能力学之道飛廻双六」を作成。諏訪康雄先生の退職記念最終講義にて配布。
- 2016年■和文化教育学会で「双六にみる職業観・仕事観の変遷」について研究発表。
- 2016~2017年■月刊「清流」誌に「絵双六に魅せられて」を1年間連載。
- 2017年■上記連載記事を「平成最後の双六絵暦(カレンダー)」として配布。
- 2017~2020年■女性活躍応援誌「季刊オピニオン・プラス」に「時代の女性の願いを映す双六」を連載。
- 2020年■上記連載記事の抜き刷り小冊子を配布。
- 202×年■「日本名双六百選」の出版。
- 203×年■絵双六がユネスコの世界記憶遺産(Memory of the World)に登録される。

●双六ねっと <http://www.sugoroku.net/>

## 時代の女性の願いを映す双六 —女性の仕事と職業観の変遷—

発行日	2020年9月1日 初版第1刷発行	非売品
著者	吉田修	
発行者	渡邊嘉子	
発行元	株式会社ヒューマン・コミュニケーション研究所 〒104-0045 東京都中央区築地2-15-15 セントラル東銀座617 TEL:03-3545-8038 HPURL: www.opinion-plus.info	

2020 Printed in Japan

乱丁・落丁本はお取り替えます。

本書の一部または全部を複写(コピー)・複製・転載および電磁的記憶媒体への入力記録は著作権法上での例外を除き、禁じられています。これらの許諾については発行元(ヒューマン・コミュニケーション研究所)までご照会ください。